

日本感染症教育研究会(IDATEN)

第13回 IDATEN クリニカルカンファレンス

共催：北海道 IDATEN クリニカルカンファレンス運営委員会/塩野義製薬株式会社

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、第13回 IDATEN クリニカルカンファレンスを開催させていただき運びとなりました。

北海道の症例を用いて、地域に根ざした臨床感染症の症例カンファレンスを行っていきたいと思います。

また、基本的な内容の講義も加えることで、臨床感染症の知識向上も目指していきたいと思います。

北海道における臨床感染症の教育推進にご協力いただけましたら、真に幸でございます。

下記の要領にて第13回 IDATEN クリニカルカンファレンスを企画いたしましたので、ご多忙のことと存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

日時 2016年12月3日(土) 13:30～ (13:00開場)

会場 アスティ45 16階 ACU大研修室 1606

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 011-272-3838

参加費 1,000円

<会場へのアクセス>

○JR 札幌駅南口出口より
西の方角に向かって徒歩5分

○地下鉄さっぽろ駅より徒歩3分

詳細はホームページをご覧ください

<http://www.acu-h.jp/index.php>

(会議・研修施設 ACU)



日本感染症教育研究会(IDATEN)

第 13 回 IDATEN クリニカルカンファレンス

日時 2016年12月3日(土) 13:30～(13:00 開場)

会場 アスティ45 16階 ACU大研修室 1606

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 011-272-3838

参加費 1,000円

プログラム

13:00～ **開場**

13:30～13:45 情報提供 『シオノギの感染症への取り組み』 塩野義製薬株式会社

13:45～13:50 **開会の挨拶**

13:50～14:50 (60分) **【臨床感染症レクチャー】**

座長 感染症コンサルタント Sapporo Medical Academy 代表理事 **岸田 直樹 先生**

『“多職種チーム医療”で感染症から未来を守る

～AMR(薬剤耐性)の現在とこれから～』

演者 東北大学病院 総合感染症科 講師 **具 芳明 先生**

【インタラクティブ・ケースカンファレンス】

ファシリテーター 川口 篤也 先生 / 藤田 崇宏 先生

15:00～15:55 **ケースカンファレンス①**

「AMRへのアプローチ 感染症医の視点から」

演者 市立札幌病院 感染症内科 **児玉 文宏先生**

15:55～16:55

① **「AMRに薬剤師ができること -薬剤師部会より-」**

演者 薬剤師部会 門村 将太 先生 / 國本 雄介 先生 / 山田 和範 先生

② **「AMRに検査技師ができること -検査技師部会より-」**

演者 検査技師部会 品川 雅明 先生 / 和田 直樹 先生

③ **「結局自分たち(各職種)は何をしたらよいの？」**

AMRの素朴な疑問を具先生に聞いてみよう！」

演者 医師部会 川口 篤也 先生 / 岸田 直樹 先生 / 藤田 崇宏 先生

17:05～18:00 **ケースカンファレンス②**

「ケースから学ぶ AMRと院内感染対策」

演者 札幌徳洲会病院 救急総合診療科(プライマリー科) **西條 正二先生 / 中川 麗先生**

北海道 IDATEN クリニカルカンファレンス運営委員会(50音順)

JCHO 札幌北辰病院 薬剤部 門村将太 / 函館稜北病院 総合診療科科長・内科医長 川口篤也

一般社団法人 Sapporo Medical Academy 代表理事 岸田直樹 / 札幌医科大学付属病院 薬剤部 國本雄介

札幌医科大学付属病院 検査部 品川雅明 / 北海道がんセンター 感染症内科 藤田崇宏

中村記念南病院 薬剤部 山田和範 / 札幌徳洲会病院 臨床検査室 和田直樹

共催:北海道 IDATEN クリニカルカンファレンス / 塩野義製薬株式会社